

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 116	提案機関名 秦野市農業協同組合 花き部会 バラ部
要望問題名 スライド式カーテン1軸2重化による保温性の向上	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 施設園芸における暖房は重油に依存している、近年重油価格高騰により施設栽培の経営は逼迫している。脱重油対策がヒートポンプなどの導入により進んでいるが、投資コストが高く、バラ栽培においては、うどん粉病などの病気の克服がいまだなされていない。投資コストが低く、高い断熱性を有する被覆材を利用し暖房負荷を抑制することが極めて重要である。また、神奈川県施設温室は初期の温室が多いため、軒高が低くカーテンの2層化が不可能な温室も多い。韓国の温室で使われているような布団状のカーテンや中国の日光温室は、断熱性は高いと考えられるが、透光性がないことからバラ栽培の温室では、有効でないと考えられる。そこで、機能性カーテン(PVA素材、透明なもの)等を既存のカーテンの下に展開し、どの程度まで暖房負荷を抑制できるか(費用対効果)を評価してほしい。(どのようなカーテン資材、どのようなカーテンの展開の仕方がよいのか。)	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター②畜産技術センター③水産技術センター④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課 野菜作物研究課
対応区分	①実施 ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 原油高騰下において省エネルギー対策として被覆資材を活用することが推奨されて久しく、近年新たな機能性を有した被覆資材も増加しています。 これらの被覆資材のうち一部の資材の特性は他研究機関で調査されておりますので、これらについて情報収集及び整理を行い提供してまいります。また、場内または現地で数種類の資材の省エネ効果の測定も可能です。供試資材の選定等についてご意見をいただければ幸いです。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			